

芸術・美術分野で栄えある受賞 長澤聖浩さん(彦部地区)と藤川健さん(古館地区)

彦部地区に在任の長澤聖浩さんは、渡船場を巡る歴史を描いた郷土史「赤石渡船場物語」で平成28年度岩手県芸術選奨を受賞しました。審査員は「渡船場の歴史を穏やかな眼差しで描いた作品と評価。長澤さんは『今回の受賞で埋もれかけていた地域文化に光が当たったのではないかと感じています。今後とも未来に伝え残すという使命感を持ち、地道に調査研究を続けていきたいです』と喜びを語りました。

また、古館地区に在任の藤川健さんは、彫刻分野で平成28年度岩手県美術選奨を受賞。盛岡市のギャラリー「彩園子」での個展開催や90回記念国展入選などの実績、審査員からは「力強く

また、古館地区に在任の藤川健さんは、彫刻分野で平成28年度岩手県美術選奨を受賞。盛岡市のギャラリー「彩園子」での個展開催や90回記念国展入選などの実績、審査員からは「力強く

また、古館地区に在任の藤川健さんは、彫刻分野で平成28年度岩手県美術選奨を受賞。盛岡市のギャラリー「彩園子」での個展開催や90回記念国展入選などの実績、審査員からは「力強く

また、古館地区に在任の藤川健さんは、彫刻分野で平成28年度岩手県美術選奨を受賞。盛岡市のギャラリー「彩園子」での個展開催や90回記念国展入選などの実績、審査員からは「力強く

また、古館地区に在任の藤川健さんは、彫刻分野で平成28年度岩手県美術選奨を受賞。盛岡市のギャラリー「彩園子」での個展開催や90回記念国展入選などの実績、審査員からは「力強く



中学生のころから地元の郷土史を研究してきたという長澤さん(右)



大学で彫刻を専攻してから、現在まで数々の作品を生み出している藤川さん(右)



キラッと★ちゃ・ちゃ・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。
今月は、紫波中央小児科に併設されている「紫波中央病児保育室」について紹介します。

Q. 「病児保育室」ってどんなところ？

A. 急な発熱や予想外の病気の発症のため登園・登校ができない子どもを、仕事などの都合により家庭で保育できない保護者に代わって、看護と保育を行うところです。

Q. 子どもたちは1日どんな生活をするの？

A. 併設の小児科で診察を受けてから入室し、通常の集団生活のタイムスケジュールや病状に合わせて、おもちゃで遊んだり、休息をとったりしながら安静に過ごします。

Q. 保育をする上で気を付けていることは？

A. 入室する子どもは、慣れない場所への不安と保護者と離れる寂しさでいっぱいなので、気持ちを受け止め、できるだけ楽しい時間を過ごしてお迎えを待てるように遊びのアイデアを考えています。また、小児科と連携して病状に合ったケアを行い、回復への手助けとなれるように努めています。



北田保育士(左上)、細川保育士(右上)
武藤院長(左下)、新沼保育士(右下)

紫波中央病児保育室 武藤秀和院長からの メッセージ

紫波中央病児保育室の目的は、子どもへのベストな環境づくりです。

現代社会では、子どもの環境は保育と病児保育があることで、健康なときでも、病気の時でも等しく子どもを守ることができません。そして、病児保育は、病気の子どもの状態に最適な環境を提供し、それは育児支援につながり、結果としての就労支援であると考えています。

ご利用の際に、環境が変わって不安があると思いますので、心配な人はまず一度、相談や見学にいらしてください。よろしくお願いいたします。

紫波中央病児保育室

■日時 月～金曜日(祝日や年末年始を除く)

午前8時30分～午後5時(延長希望に応じ、午後6時まで)

■場所 紫波中央病児保育室(オガールセンター1階 紫波中央小児科内)

■対象 生後2カ月から小学6年生までの子ども

■料金 1日当たり2200円(生活保護世帯・市町村民税非課税世帯は無料)／延長1000円

※紫波中央病児保育室の利用には、こども課で事前登録が必要です。手続きには、母子手帳と印鑑を持参してください。